

## 総務文教常任委員会

9月定例会で付託された議案2件を審査しました。

★朝倉市防災会議条例及び朝倉市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について

防災会議は災害対策の総合的な推進を担うもので、災害時の情報収集は災害対策本部において実施してきました。今回役割分担を明確にするために、防災会議の所掌事務から災害時の情報収集事務を削り、防災会議の委員に新たに「自主防災組織を構成するもの又は学識経験者のうちから市長が任命する者」を追加するものです。委員会では、防災会議に多様な意見を反映できるなど、より充実した改正内容であることから賛成多数で可決しました。

★朝倉市長の調査等の対象となる法人を定める条例の制定について

これまで予算の執行に関



防災会議の充実を目指します

する市長の調査対象となる法人として、「市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資している一般社団法人、一般財団法人、株式会社」と定めていましたが、地方自治法施行令の改正により、「4分の1以上2分の1未満を出資している法人等」まで調査の範囲を拡大するものです。甘木鉄道株式会社が新たに対象となり、全員異議なく可決しました。

9月定例会で付託された議案7件と請願1件を審査しました。

★平成23年度朝倉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

23年度の1人当りの療養諸費は37万2千円で、22年度と比べて6.1%増加しています。事業勘定は歳入が3億1千480万円不足するため、24年度予算からの繰上充用で対応しています。今後も特定健診や特定保健指導による生活習慣病の予防、重複受診者や多受診者への訪問指導を通し、医療費の適正化に努めるとのことでした。

直営診療施設勘定は、4万円の黒字決算となっていますが、設備の改修工事を行ったこともあり、財源として1千140万円の基金取り崩しを行っています。

医療費抑制への努力と、診療所が基金に頼らない運

## 環境民生常任委員会

営となるよう要望し、全員異議なく原案のとおり認定しました。

★平成23年度朝倉市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

事業勘定は介護事業計画に基づき、介護給付費準備基金7千400万円の繰り入れを行い、49万8千円の黒字決算となっております。

ケアプラン作成費の収入で事業を運営する介護サービス事業勘定は501万円の黒字決算となっております。

今後とも介護予防への取り組みに十分に力を入れ、介護事業計画の検証を行い事業に生かしていただくよう要望し、全員異議なく原案のとおり認定しました。



山登りで健康づくり

## 建設経済常任委員会

9月定例会で付託された議案12件を審査しました。

★平成24年度「朝倉市下水道事業特別会計補正予算」「朝倉市農業集落排水事業特別会計補正予算」「朝倉市個別排水事業特別会計補正予算」について

平成25年度から平成27年度までの3年間、下水道課の窓口業務などを民間業者に外部委託するため、債務負担行為を設定するための予算の補正を行うものです。

同課は、下水道の使用件数が毎年増加しているため、昨年度の平均時間外勤務が最も多い係で376時間と、職員平均の約3倍弱となっています。既に民間委託を始めている糸島市等を参考に検証したところ、民間委託した場合に年間約1千万円の経費削減が見込まれています。

議案質疑において、費用



質の高いサービスを期待したい

対効果、個人情報保護、責任の所在などについて質すと、過酷な勤務体制の改善と職員の健康維持、さらに、職員定数を減らして行政改革をするためにも民間委託したいと執行部より説明を受けました。また、討論では他課についても検証の必要があるうえ、全庁的な周知や議論をすべきと反対意見がありました。

しかしながら、これから更なる繁忙が予測されるため、正常な勤務状況に戻し、健康保持に努める必要があること、人件費と人員の削減ができることから賛成多数で可決しました。